

# 委託業務設計書

施行年度	令和2年度	契約番号		伊賀市			
		2020000902					
業務名	令和2年度 道路メンテナンス事業 橋梁点検業務委託 上野工区			設計番号			
				02-39-0024-3-302			
履行場所	伊賀市 上野 管内			設計・積算年月日			
業務区分	設計業務			積算者	検算者		
設計金額	円 内消費税相当額 円						
工期	契約日から210日間	延	長	m	幅	員	m
業務の大要						起工理由	
令和2年度 道路メンテナンス事業 橋梁点検業務委託 上野工区  橋梁点検 橋梁点検 (L=15.0m未満) 梯子 橋 橋梁点検 (L=15.0m以上) 点検車 橋 橋梁点検 (L=15.0m以上) 梯子 橋 健全度評価 (L=15.0m未満) 橋 健全度評価 (L=15.0m以上) 橋						別紙	

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
設計・解析・調査業務								
01:設計・解析・調査								
橋梁点検業務委託				式				
					1.000			
直接人件費				式				第 0001 号 明細表
					1.000			
旅費交通費				式				第 0002 号 明細表
					1.000			
直接経費（成果品作成費分）				式				
					1.000			
直接原価				式				
					1.000			
その他原価				式				
					1.000			
業務原価				式				
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	一般管理費等			式				
					1.000			
設計・解析・調査業務価格				式				
					1.000			
消費税及び地方消費税相当額				式				
					1.000			
業務委託料				式				
					1.000			

[設計・解析・調査]

第 0001 号 明細表 直接人件費					1 式
					(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
業務計画書作成 (100橋以上)	業務				第0001号単価表
		1.000			
図面作成	橋				第0002号単価表
		133.000			
現地踏査	橋				第0003号単価表
		133.000			
橋梁点検 橋長15m未満 梯子	橋				第0004号単価表
		119.000			
橋梁点検 橋長15m以上 点検車	橋				第0005号単価表
		5.000			
橋梁点検 橋長15m以上 梯子	橋				第0006号単価表
		9.000			
健全度評価 L=15m未満	橋				第0007号単価表
		119.000			
健全度評価 L=15m以上	橋				第0008号単価表
		14.000			

[設計・解析・調査]

第 0001 号 明細表 直接人件費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
点検調書作成		橋				第0009号単価表
			133.000			
打合せ協議		業務				第0010号単価表
			1.000			
合 計						

第 0002 号 明細表 旅費交通費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ライトバン運転		日				第0001号施工単価表
橋梁点検車運転経費		日				第0011号単価表
合 計						

ライトバン運転

第 0001 号 施工単価表  
1.000 日 当り

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ガソリン レギュラー80オクタン価以上	リットル				
ライトバン	時間				
ライトバン	日				
雑品	式	1.000			
合計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

SJ0010 業務計画書作成 (100橋以上)		第 0001 号単価表 1 業務 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	業務	1.000			
単位当り	業務	1.000	当り		

SJ0020 図面作成		第 0002 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0030 現地踏査		第 0003 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0060 橋梁点検 橋長15m未満 梯子		第 0004 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0070 橋梁点検 橋長15m以上 点検車		第 0005 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0080 橋梁点検 橋長15m以上 梯子		第 0006 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0090 健全度評価 L=15m未満		第 0007 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0100 健全度評価 L=15m以上		第 0008 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0110 点検調書作成		第 0009 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0120 打合せ協議		第 0010 号単価表 1 業務 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	業務	1.000			
単位当り	業務	1.000	当り		

SJ0140 橋梁点検車運転経費		第 0011 号単価表				1 日 当り
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
一般運転手	人					
軽油 一般用	リットル					
橋梁点検車賃料	日					
合 計	日	1.000				
単位当り	日	1.000	当り			

令和2年度 道路メンテナンス事業

橋梁点検業務委託 上野工区

数量計算書



番号	国交省管理用番号	道路橋名	市道名	共架年	橋長(m)	幅員(m)	所在地		緯度	経度	点検評価
1	BR0-242161-00044	谷山橋	市道高山坂下線	1975	5.5	3	伊賀市	友生	34° 43' 21.38"	136° 13' 39.49"	梯子
2	BR0-242161-00048	西出橋	市道依那古花之木線	1972	2	4.1	伊賀市	猪田	34° 43' 23.92"	136° 08' 10.26"	梯子
3	BR0-242161-00051	山之花橋	市道依那古花之木線	1988	13	7	伊賀市	猪田	34° 43' 55.09"	136° 07' 19.34"	梯子
4	BR0-242161-00052	内屋敷橋	市道依那古花之木線	1958	3.3	6.2	伊賀市	猪田	34° 44' 19.10"	136° 07' 02.10"	梯子
5	BR0-242161-00054	渋田橋	市道依那古友生線	1956	7.2	3.2	伊賀市	依那古	34° 43' 55.00"	136° 10' 29.20"	梯子
6	BR0-242161-00097	城田4号橋	市道依那具笠部線	1971	2.4	2.8	伊賀市	依那古	34° 43' 52.71"	136° 08' 43.67"	梯子
7	BR0-242161-00098	中川原2号橋	市道依那具笠部線	1984	12.5	5.5	伊賀市	猪田	34° 43' 56.04"	136° 07' 52.57"	梯子
8	BR0-242161-00102	広畑橋	市道沖比自岐線	1983	2.7	3.4	伊賀市	依那古	34° 42' 48.46"	136° 09' 13.56"	梯子
9	BR0-242161-00105	片岨2号橋	市道沖比自岐線	1980	4.8	4	伊賀市	依那古	34° 42' 18.32"	136° 10' 26.72"	梯子
10	BR0-242161-00113	美彌橋	市道大滝桂線	1954	4.1	1.9	伊賀市	花垣	34° 40' 49.36"	136° 05' 22.37"	梯子
11	BR0-242161-00114	砂川2号橋	市道山出大東線	1975	5.5	4	伊賀市	猪田	34° 43' 05.44"	136° 07' 57.30"	梯子
12	BR0-242161-00115	沢田橋	市道山出大東線	1975	6.5	4	伊賀市	猪田	34° 43' 05.92"	136° 07' 59.93"	梯子
13	BR0-242161-00116	野田橋	市道山出大東線	1975	5.3	4	伊賀市	猪田	34° 43' 03.84"	136° 08' 13.33"	梯子
14	BR0-242161-00117	野田1号橋	市道山出大東線	1975	2.3	4	伊賀市	猪田	34° 43' 03.88"	136° 08' 17.39"	梯子
15	BR0-242161-00118	東代橋	市道山出大東線	1975	10.4	5	伊賀市	猪田	34° 43' 02.27"	136° 08' 41.82"	梯子
16	BR0-242161-00121	菊川1号橋	市道猪田上之庄線	1984	4	7.5	伊賀市	猪田	34° 43' 55.98"	136° 07' 47.78"	梯子
17	BR0-242161-00122	泥橋	市道猪田上之庄線	1975	4	5	伊賀市	猪田	34° 44' 02.57"	136° 07' 32.31"	梯子
18	BR0-242161-00123	大門橋	市道大野木大内線	1972	2.7	4.6	伊賀市	花之木	34° 44' 25.21"	136° 07' 02.21"	梯子
19	BR0-242161-00124	大門1号橋	市道大野木大内線	1972	4.5	4.6	伊賀市	花之木	34° 44' 25.00"	136° 07' 06.78"	梯子
20	BR0-242161-00125	岩根1号橋	市道大内長田線	1969	5.2	5.4	伊賀市	花之木	34° 44' 21.15"	136° 06' 33.08"	梯子
21	BR0-242161-00126	寺垣内橋	市道大内長田線	1975	5.9	11.9	伊賀市	長田	34° 46' 02.65"	136° 06' 17.21"	梯子
22	BR0-242161-00127	寺垣内2号橋	市道大内長田線	1975	2.5	3.6	伊賀市	長田	34° 46' 05.55"	136° 06' 17.50"	梯子
23	BR0-242161-00136	黒岩橋	市道大内白樫側道線	1965	2.8	20.8	伊賀市	花之木	34° 44' 17.07"	136° 06' 30.32"	梯子
24	BR0-242161-00138	平尾橋	市道久米守田線	1957	2.5	11	伊賀市	久米	34° 45' 09.72"	136° 07' 36.77"	梯子
25	BR0-242161-00146	無名橋1	市道車坂寺田橋線	1967	3	7.9	伊賀市	中瀬	34° 46' 12.96"	136° 08' 32.82"	梯子
26	BR0-242161-00147	丸中橋	市道丸山中学校線	1953	2.2	3.2	伊賀市	依那古	34° 42' 27.03"	136° 09' 19.77"	梯子
27	BR0-242161-00148	中河内橋	市道比自岐妙楽寺線	1990	5	2.5	伊賀市	友生	34° 42' 31.31"	136° 12' 48.78"	梯子
28	BR0-242161-00152	砂川橋	市道田中西出線	1975	4.8	5.8	伊賀市	猪田	34° 43' 21.58"	136° 08' 04.14"	梯子
29	BR0-242161-00153	横枕1号橋	市道田中西出線	1975	2.3	6.1	伊賀市	猪田	34° 43' 18.15"	136° 08' 12.62"	梯子
30	BR0-242161-00154	大広橋	市道大滝広瀬線	1963	3.3	2.6	伊賀市	花垣	34° 40' 44.96"	136° 05' 08.02"	梯子
31	BR0-242161-00155	七本木橋	市道七本木予野線	1975	6	4	伊賀市	花之木	34° 43' 48.74"	136° 05' 39.94"	梯子
32	BR0-242161-00159	北谷3号橋	市道平野北谷小田線	1981	2	4	伊賀市	東部	34° 46' 24.96"	136° 07' 46.09"	梯子
33	BR0-242161-00163	北谷4号橋	市道くれば13号線	1981	3.4	2	伊賀市	東部	34° 46' 24.87"	136° 07' 47.14"	梯子
34	BR0-242161-00164	南橋	市道南西明寺緑ヶ丘南町1号線	1988	2.3	4.1	伊賀市	東部	34° 45' 26.43"	136° 08' 52.84"	梯子
35	BR0-242161-00166	往古川橋	市道八幡町新町裏線	1968	4.3	3.7	伊賀市	久米	34° 45' 51.20"	136° 07' 18.28"	梯子
36	BR0-242161-00167	四十九東部2号橋	市道四十九東部線	1977	5.5	5	伊賀市	久米	34° 44' 51.03"	136° 08' 36.12"	梯子
37	BR0-242161-00168	林1号橋	市道林南平尾線	1925	3.7	5.3	伊賀市	久米	34° 44' 41.76"	136° 02' 21.96"	梯子
38	BR0-242161-00169	川原垣内橋	市道四十九久米小学校線	1985	2.1	5	伊賀市	久米	34° 45' 18.31"	136° 07' 51.01"	梯子
39	BR0-242161-00170	四十九1号橋	市道本郷西寄線	1984	5.4	3	伊賀市	依那古	34° 44' 22.96"	136° 08' 04.24"	梯子
40	BR0-242161-00171	下川原橋	市道木興上川原神ノ木線	1978	4.3	4	伊賀市	長田	34° 45' 15.27"	136° 06' 50.99"	梯子
41	BR0-242161-00172	上川原橋	市道木興上川原神ノ木線	1978	4.3	4	伊賀市	長田	34° 45' 08.44"	136° 06' 49.94"	梯子
42	BR0-242161-00173	四十九3号橋	市道四十九本郷2号線	1984	5.4	3	伊賀市	依那古	34° 44' 22.75"	136° 07' 55.82"	梯子
43	BR0-242161-00174	四十九6号橋	市道四十九本郷3号線	1984	6.4	5	伊賀市	久米	34° 44' 32.11"	136° 07' 55.39"	梯子
44	BR0-242161-00175	四十九8号橋	市道四十九本郷5号線	1984	5.3	4	伊賀市	久米	34° 44' 29.45"	136° 07' 47.15"	梯子
45	BR0-242161-00238	大釜橋	市道上荒木下荒木線	1961	2.7	2.6	伊賀市	中瀬	34° 46' 18.66"	136° 10' 02.52"	梯子
46	BR0-242161-00239	荒打橋	市道荒打広岡線	1973	7.3	7	伊賀市	中瀬	34° 46' 00.90"	136° 09' 43.90"	梯子

47	BRO-242161-00240	下川原橋	市道要井中川原線	1966	2.5	2.5	伊賀市	中瀬	34° 46' 23.03"	136° 08' 44.83"	梯子
48	BRO-242161-00242	寺田9号橋	市道南寺田北寺田線	1985	3.5	4.2	伊賀市	中瀬	34° 46' 42.70"	136° 09' 51.32"	梯子
49	BRO-242161-00243	宮ノ西橋	市道谷出口大池正法寺線	1985	2	3.6	伊賀市	中瀬	34° 46' 37.71"	136° 10' 03.87"	梯子
50	BRO-242161-00244	無名橋2 (4334号線)	市道下荒木野々浦線	2011	10.4	4	伊賀市	中瀬	34° 46' 03.81"	136° 09' 36.47"	梯子
51	BRO-242161-00245	西川原橋	市道西川原大里線	1955	10	2.2	伊賀市	友生	34° 44' 36.67"	136° 11' 08.45"	梯子
52	BRO-242161-00246	西川原2号橋	市道西川原大里線	1955	7	2.1	伊賀市	友生	34° 44' 39.03"	136° 11' 10.65"	梯子
53	BRO-242161-00247	川原出3号橋	市道西川原東川原線	1968	13.6	2.1	伊賀市	友生	34° 44' 41.08"	136° 11' 14.40"	梯子
54	BRO-242161-00248	奥山橋	市道和田具足山線	1955	6.1	2.7	伊賀市	友生	34° 44' 10.56"	136° 13' 32.48"	梯子
55	BRO-242161-00249	具足山橋	市道和田具足山線	1955	6	2.8	伊賀市	友生	34° 43' 58.50"	136° 13' 49.26"	梯子
56	BRO-242161-00250	青ノ代橋	市道蓮池高山線	1973	5.1	3	伊賀市	友生	34° 43' 49.03"	136° 12' 47.17"	梯子
57	BRO-242161-00251	大木橋	市道下友生桑町線	1961	3.5	2.9	伊賀市	久米	34° 45' 48.50"	136° 08' 25.87"	梯子
58	BRO-242161-00252	石伏1号橋	市道界外中友生線	1973	3.9	3.1	伊賀市	友生	34° 44' 42.97"	136° 10' 17.08"	梯子
59	BRO-242161-00254	大沢橋	市道和田出屋敷線	1956	5.3	4.6	伊賀市	友生	34° 44' 50.09"	136° 12' 59.74"	梯子
60	BRO-242161-00255	北垣内橋	市道上垣内北ノ垣内線	1987	13.5	4	伊賀市	友生	34° 44' 37.84"	136° 11' 20.06"	梯子
61	BRO-242161-00256	金剛寺2号橋	市道西川原金剛寺線	1956	3	2	伊賀市	友生	34° 44' 54.36"	136° 11' 28.17"	梯子
62	BRO-242161-00258	堂ノ前橋	市道上ノ平堂ノ前線	1970	13	3.6	伊賀市	友生	34° 44' 28.13"	136° 11' 02.12"	梯子
63	BRO-242161-00259	野田橋	市道野田森見線	1970	9.7	2	伊賀市	友生	34° 44' 02.37"	136° 11' 19.91"	梯子
64	BRO-242161-00260	水晶谷橋	市道柳谷水晶谷線	1961	6	2.3	伊賀市	友生	34° 43' 35.60"	136° 11' 36.60"	梯子
65	BRO-242161-00262	奈良田橋	市道奈良田線	1953	11	2.8	伊賀市	友生	34° 44' 20.50"	136° 11' 42.50"	梯子
66	BRO-242161-00263	大狭間橋	市道芝崎大狭間線	1971	6	2.7	伊賀市	友生	34° 44' 33.00"	136° 11' 55.90"	梯子
67	BRO-242161-00264	横山1号橋	市道横山野田線	1985	11	4.6	伊賀市	友生	34° 44' 09.00"	136° 12' 34.50"	梯子
68	BRO-242161-00265	狭間橋	市道青ノ代狭間線	1986	9	4.6	伊賀市	友生	3° 43' 52.96"	136° 12' 36.10"	梯子
69	BRO-242161-00266	御倉上橋	市道和田横山線	1966	10	4.1	伊賀市	友生	34° 44' 19.60"	136° 13' 00.00"	梯子
70	BRO-242161-00267	小溝橋	市道小溝北田線	1956	7	2.7	伊賀市	友生	34° 44' 50.10"	136° 12' 59.70"	梯子
71	BRO-242161-00268	高座橋	市道高座松本線	1966	8	4.8	伊賀市	友生	34° 44' 49.50"	136° 13' 00.90"	梯子
72	BRO-242161-00270	出屋敷橋	市道出屋敷松本線	1966	9	4.8	伊賀市	友生	34° 44' 58.00"	136° 13' 03.60"	梯子
73	BRO-242161-00271	新堂口橋	市道音頭山新堂線	1974	5	3.5	伊賀市	友生	34° 43' 59.40"	136° 12' 24.50"	梯子
74	BRO-242161-00272	新堂橋	市道音頭山新堂線	1971	6	3.3	伊賀市	友生	34° 43' 58.70"	136° 13' 16.80"	梯子
75	BRO-242161-00273	下友生7号橋	市道竹之添高寺線	1988	4	5.3	伊賀市	友生	34° 45' 03.60"	136° 09' 08.80"	梯子
76	BRO-242161-00275	森ノ下橋	市道中之地塚本線	1978	12	2.3	伊賀市	友生	34° 44' 45.00"	136° 10' 42.90"	梯子
77	BRO-242161-00276	下友生3号橋	市道久保川原橋廣川原線	1984	5	4.6	伊賀市	友生	34° 44' 57.60"	136° 09' 04.60"	梯子
78	BRO-242161-00277	高山1号橋	市道高山3号線	1984	9	4.6	伊賀市	友生	34° 43' 49.80"	136° 12' 46.30"	梯子
79	BRO-242161-00281	藤谷橋	市道藤谷線	1966	5	4.4	伊賀市	依那古	34° 43' 31.30"	136° 10' 17.60"	梯子
80	BRO-242161-00282	藤谷1号橋	市道藤谷線	1966	3	5.3	伊賀市	依那古	34° 43' 38.20"	136° 10' 26.10"	梯子
81	BRO-242161-00283	才良1号橋	市道古崎宮之本線	1984	11	4.6	伊賀市	依那古	34° 42' 21.30"	136° 10' 07.20"	梯子
82	BRO-242161-00284	北馬場1号橋	市道北馬場線	1989	3	11.2	伊賀市	依那古	34° 42' 49.00"	136° 09' 04.20"	梯子
83	BRO-242161-00285	四十九10号橋	市道依那具四十九線	1984	4	6.6	伊賀市	久米	34° 44' 22.60"	136° 08' 12.60"	梯子
84	BRO-242161-00286	乙部1号橋	市道森前乙部線	1975	4	4.8	伊賀市	依那古	34° 43' 30.20"	136° 09' 11.00"	梯子
85	BRO-242161-00287	乙部2号橋	市道乙部森前線	1928	2	7.8	伊賀市	依那古	34° 43' 30.10"	136° 09' 14.20"	梯子
86	BRO-242161-00289	神之木9号橋	市道神之木乙部線	1936	2	3.1	伊賀市	依那古	34° 43' 26.00"	136° 09' 17.60"	梯子
87	BRO-242161-00290	鳥羽橋	市道深町十河池線	1988	2	4.9	伊賀市	依那古	34° 42' 54.60"	136° 09' 32.40"	梯子
88	BRO-242161-00291	市場橋	市道市場線	1946	3	2.7	伊賀市	依那古	34° 42' 19.00"	136° 09' 23.90"	梯子
89	BRO-242161-00296	城田3号橋	市道城田新池線	1961	2	3	伊賀市	依那古	34° 43' 52.80"	136° 08' 50.90"	梯子
90	BRO-242161-00297	伸福寺前橋	市道伸福寺線	1971	2	6.3	伊賀市	依那古	34° 43' 53.10"	136° 08' 49.30"	梯子
91	BRO-242161-00300	神之木8号橋	市道川原田鳥羽線	1917	3	7.4	伊賀市	依那古	34° 43' 22.00"	136° 09' 25.70"	梯子
92	BRO-242161-00305	北川原1号橋	市道西出片岨線	1980	4	4.6	伊賀市	比自岐	34° 42' 35.60"	136° 11' 03.30"	梯子
93	BRO-242161-00306	折戸1号橋	市道西出片岨線	1980	3	4.6	伊賀市	比自岐	34° 42' 32.50"	136° 10' 51.50"	梯子

94	BR0-242161-00307	田中橋	市道比自岐神社線	1971	3	4	伊賀市	比自岐	34° 42' 23.30"	136° 11' 19.70"	梯子
95	BR0-242161-00308	田中2号橋	市道田中馬場東線	1957	3	4.5	伊賀市	比自岐	34° 42' 25.80"	136° 11' 25.70"	梯子
96	BR0-242161-00309	穴桑橋	市道比自岐岡波線	1978	5	3.4	伊賀市	比自岐	34° 42' 06.70"	136° 10' 54.60"	梯子
97	BR0-242161-00310	中出橋	市道比自岐上寺線	1973	12	4.5	伊賀市	比自岐	34° 42' 46.00"	136° 11' 38.00"	梯子
98	BR0-242161-00311	南橋	市道摺見比自岐線	1957	6	2.2	伊賀市	比自岐	34° 42' 32.10"	136° 11' 42.40"	梯子
99	BR0-242161-00313	安水橋	市道百々農栄片岨線	1962	14	3.5	伊賀市	比自岐	34° 42' 10.28"	136° 10' 37.16"	梯子
100	BR0-242161-00314	沢橋	市道百々農栄片岨線	1980	5	3.6	伊賀市	比自岐	34° 42' 18.90"	136° 10' 43.60"	梯子
101	BR0-242161-00315	宮裏橋	市道西出田中線	1966	7	3.3	伊賀市	比自岐	34° 42' 23.50"	136° 11' 17.80"	梯子
102	BR0-242161-00316	馬場東橋	市道馬場西田中線	1957	6	3	伊賀市	比自岐	34° 42' 20.80"	136° 11' 24.30"	梯子
103	BR0-242161-00317	田中1号橋	市道馬場西田中線	1956	3	4.5	伊賀市	比自岐	34° 42' 24.30"	136° 11' 22.00"	梯子
104	BR0-242161-00320	田中3号橋	市道馬場東線	1957	3	4.3	伊賀市	比自岐	34° 42' 26.60"	136° 11' 30.00"	梯子
105	BR0-242161-00321	向山橋	市道向山線	1951	4	3.1	伊賀市	比自岐	34° 42' 37.30"	136° 11' 49.90"	梯子
106	BR0-242161-00322	向山2号橋	市道向山線	1986	7	3.5	伊賀市	比自岐	34° 42' 34.90"	136° 11' 43.70"	梯子
107	BR0-242161-00324	古野2号橋	市道つぼら池古野線	1987	7	4.6	伊賀市	比自岐	34° 43' 07.60"	136° 11' 44.90"	梯子
108	BR0-242161-00325	古野1号橋	市道古野線	1980	11	4.6	伊賀市	比自岐	34° 43' 16.90"	136° 11' 39.90"	梯子
109	BR0-242161-00326	長谷橋	市道中河内妙楽寺線	1917	2	4	伊賀市	比自岐	34° 42' 52.40"	136° 12' 38.30"	梯子
110	BR0-242161-00329	古野橋	市道古野線	1991	13	4.6	伊賀市	友生	34° 43' 33.70"	136° 11' 27.20"	梯子
111	BR0-242161-00328	荒神松橋	市道百々農栄荒神松線	1980	4	3.4	伊賀市	比自岐	34° 41' 39.50"	136° 11' 43.60"	梯子
112	BR0-242161-00330	無名橋1	市道川内線	1991	5	4.6	伊賀市	比自岐	34° 42' 56.10"	136° 12' 21.70"	梯子
113	BR0-242161-00361	大久保橋	市道鍛冶屋地藏山線	1979	6	4.6	伊賀市	古山	34° 42' 00.20"	136° 07' 26.50"	梯子
114	BR0-242161-00362	安場1号橋	市道東向田端線	1975	12	4.3	伊賀市	古山	34° 41' 10.80"	136° 06' 48.10"	梯子
115	BR0-242161-00363	東向橋	市道横尾西向線	1976	12	6.7	伊賀市	古山	34° 41' 08.70"	136° 06' 49.00"	梯子
116	BR0-242161-00364	安場2号橋	市道横尾田端線	1975	12	3.8	伊賀市	古山	34° 44' 10.50"	136° 06' 43.50"	梯子
117	BR0-242161-00365	柳河内橋	市道桂安橋田端線	1965	6	2	伊賀市	古山	34° 41' 12.40"	136° 06' 23.40"	梯子
118	BR0-242161-00366	小山橋	市道桂安橋田端線	1970	12	3.1	伊賀市	古山	34° 41' 13.90"	136° 06' 25.90"	梯子
119	BR0-242161-00367	石原1号橋	市道湯屋谷安場線	1973	3	3.8	伊賀市	古山	34° 41' 33.20"	136° 06' 32.20"	梯子

平均橋長 平均幅員  
橋長15m未満 梯子 119橋 5.8 4.4

番号	国交省管理用番号	道路橋名	市道名	共架年	橋長(m)	幅員(m)	所在地		緯度	経度	点検評価
1	BR0-242161-00145	車橋	市道車坂寺田橋線	2002	30.7	8.2	伊賀市	東部	34° 46' 11.37"	136° 08' 34.79"	点検車
2	BR0-242161-01225	高畑橋	市道西明寺一之宮東條線	1998	143	12	伊賀市	中瀬	34° 46' 26.20"	136° 09' 14.70"	点検車
3	BR0-242161-01230	岩倉大橋	市道花之木新居線	1968	185	6	伊賀市	長田	34° 46' 38.20"	136° 06' 06.40"	点検車
4	BR0-242161-01435	甲之木橋	市道中切甲之木線	1990	34.8	4	伊賀市	友生	34° 44' 46.40"	136° 09' 28.00"	梯子
5	BR0-242161-01445	四ツ辻橋	市道齒朶谷線	1985	16.6	6	伊賀市	島ヶ原	34° 45' 05.80"	136° 03' 07.80"	梯子
6	BR0-242161-00319	下り合橋	市道中川橋大谷池線	1951	16	3.5	伊賀市	比白岐	34° 42' 32.40"	136° 11' 18.00"	梯子
7	BR0-242161-01267	湯屋谷橋	市道花之木古山神戸線	1983	21.9	7	伊賀市	古山	34° 41' 46.20"	136° 06' 14.30"	梯子
8	BR0-242161-01271	のぞみ橋	市道四十九町ゆめが丘線	1998	33.3	20	伊賀市	ゆめが丘	34° 43' 49.40"	136° 09' 49.40"	梯子
9	BR0-242161-01320	笠部橋	市道依那具笠部線	1955	97.6	2	伊賀市	猪田	34° 44' 05.00"	136° 08' 00.00"	梯子
10	BR0-242161-01340	子安橋	市道久米守田線	1956	36.2	3.4	伊賀市	久米	34° 45' 10.40"	136° 07' 36.80"	梯子
11	BR0-242161-01400	上の平橋	市道久米小学校線	1973	40	3	伊賀市	久米	34° 45' 15.90"	136° 07' 39.30"	梯子
12	BR0-242161-01438	下友生小橋	市道下友生ゆめが丘線	1991	47	20	伊賀市	友生	34° 44' 59.00"	136° 09' 07.80"	梯子
13	BR0-242161-01439	下友生橋	市道下友生ゆめが丘線	1990	33.5	20	伊賀市	友生	34° 44' 56.70"	136° 09' 06.30"	梯子
14	BR0-242161-01452	菖蒲池跨道橋	市道菖蒲池界外予野線	2000	37.1	3	伊賀市	古山	34° 42' 05.60"	136° 06' 35.60"	梯子

			平均橋長	平均幅員
橋長15m以上	点検車	5橋	82.0	7.2
橋長15m以上	梯子	9橋	40.3	9.1

# 特記仕様書

## 1. 目的

本業務は、伊賀市が管理する橋梁の現状を把握し、橋梁の維持管理に必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 適用図書

本業務の橋梁点検に関する作業については、「伊賀市橋梁点検要領令和2年6月」によること。

## 3. 点検従事者について

点検業務に従事する者のうち1名は、「三重県橋梁点検技術者講習会」を受講し、受講証明書の交付を受けた者とする。

## 4. 点検業務について

### (1) 計画準備

#### ① 業務計画書

- ・伊賀市より貸与された資料等をもとに、業務計画書を作成する。
- ・業務計画書には、「三重県橋梁点検技術者講習会」の受講証明書を添付すること。

#### ② 図面作成

- ・伊賀市により提供された橋梁台帳により、チェックシートの概略図を作成する。
- ただし、橋梁一般図等がない場合は、請負者において現地調査を行い、点検要領に基づく点検に必要な概略図を作成すること。

### (2) 現地踏査

- ・橋梁点検に先立って現地調査を行い、点検計画を策定するために必要な進入路、交通状況等を把握すること。

### (3) 関係機関協議

- ・他機関との協議が必要な橋梁については、監督員へ報告すること。

### (4) 点検

- ・「伊賀市橋梁点検要領令和2年6月」に基づき点検を行う。また、必要に応じて橋梁台帳の記載事項（塗装面積、高欄の種類、落橋防止施設の種類等）を補完するために現地で調査を行う。なお、支承については、損傷がなくても各支点（橋台・橋脚）で1ヶ所写真を撮影すること。
- ・支承等に土砂が被さっている場合は、それを撤去したうえで点検を行うこと。

- (5) 点検調書作成
  - ・点検結果をもとに、伊賀市橋梁点検要領のチェックシートを清書し、写真等の整理を行う。
  - ・点検結果を発注者が提供するエクセルシートに入力すること。
- (6) 打合せ
  - ・作業計画書をもとに、調査方法、内容等を打ち合わせるとともに、発注者より橋梁点検に必要な資料等の貸与を受けること。
- (7) 安全管理
  - ・本業務を実施するにあたり、本特記仕様書に定める図書のほか、関連法令等を遵守し、作業の安全確保に努めること。
- (8) 土地の立ち入り等について
  - ・本業務を実施するために第三者の土地に立ち入る場合、または、第三者所有の草木等の伐採が必要な場合は、受注者において了解を得ること。
- (9) 健全度評価
  - ・本業務で点検を行った橋梁について、「伊賀市橋梁点検要領損傷事例」を参考に、損傷度の見直しを行い、橋梁の健全度評価（4段階）を行うこと。
- (10) その他
  - ・本特記仕様書に定めのないものは、「三重県業務委託共通仕様書」によるものとする。
- (11) 工程管理（履行報告）
  - ・業務計画書に基づき全体工程を作成し、毎月末の履行状況を所定の様式に基づき作成し、翌月の3日までに監督員に提出すること。なお、工程に遅れが生じている場合は、全体工程を修正し、履行状況の提出に併せて修繕全体工程表を提出すること。
- (12) 橋梁点検データの整理について
  - ・伊賀市橋梁点検要領令和2年6月P93からP107に基づくこと。
  - ・データの整理が完了後、橋梁点検データを三重県建設技術センターでフォルダ構成等の作業を行いますので、不適合が見受けられた場合は、修正等の作業を行うこと。なお、時期については監督員と協議を行うこと。

## 保管用データ作成にかかる追加特記仕様書 (橋梁点検データ管理用)

本追加特記仕様書は、業務の委託を受けた者（以下「乙」という。）が成果品として定められている電子納品用成果とは別に、発注者（以下「甲」という。）データ保管のための電子データ（以下「保管用データ」という。）の作成について定めるものである。

### 1 通 則

保管用データ作成については、本追加特記仕様書に基づき実施するものとし、本追加特記仕様書等に明示なき事項、又は疑義が生じた場合には、甲乙協議の上これを定めるものとする。

### 2 提出部数及び収録電子媒体

- (1) 作成部数 1 部
- (2) 収録電子媒体はDVD-RまたはCD-Rを用いるものとするが、甲との協議により了承を得た場合はこの限りではない。
- (3) 提出する収録電子媒体は、最新のバージョンによるウイルスチェックを実施し、脅威が検出されていない旨を甲に報告しなければならない。

### 3 橋梁基本情報の作成

- (1) 橋梁基本情報とは、対象となる橋梁の諸元（位置や橋梁名など）を示すものであり、甲より作成の指示のあった場合は、別途甲より提供する様式「橋梁基本情報登録」において必要な情報を入力し、提出しなければならない。
- (2) 甲より配布される様式類については、レイアウト（行や列の挿入・削除）等改変することはできない。やむを得ず改変する場合は、甲に改変内容を書面にて提示しなければならない。

### 4 橋梁点検にかかる保管用データの作成（参考資料参照）

- (1) 橋梁点検については、別途特記仕様書に示されている伊賀市橋梁点検要領に基づき実施し、保管用データを取りまとめ格納しなければならない。

- ① 保管用データ格納フォルダーは、橋梁毎に所定のフォルダー構成でチェックシート、橋梁管理カルテ、国が定める記録様式のエクセルファイルを格納したものを、甲より乙に配布する。
  - ② 甲より配布される様式類は、レイアウト（行や列の挿入・削除）等改変することはできない。やむを得ず改変する場合は、甲に報告し協議のうえ指示を得なければならない。
  - ③ チェックシート、橋梁管理カルテ、国が定める記録様式の成果データは、配布したエクセルファイルを用いて作成しなければならない。なお、エクセルファイルは個別の橋梁単位で作成しているため、別の橋梁に複写して作成してはならない。
  - ④ 保管用データ格納フォルダーは、橋梁単位、径間単位で格納しているため現地と相違がある場合、甲に報告し協議のうえ指示を得なければならない。
- (2) 報告書フォルダーには、別途示す「業務対象橋梁一覧」を格納しているため、対象橋梁の確認を行い、相違がある場合は甲に報告し協議のうえ指示を得なければならない。
  - (3) 報告書フォルダーには、設計報告書をPDFにて一式格納しなければならない。
  - (4) 報告書フォルダーには、甲より指示のない限り、オリジナルデータは格納してはならない。
  - (5) その他伊賀市橋梁点検要領に記載のないものについては、甲と協議のうえ指示を得なければならない。
  - (6) 成果品（保管用データ）については、甲より提供されるチェックシステムを用いてチェックを行い、エラーの無いように修正しなければならない。
  - (7) チェックシステムにおける警告事案に関しては、警告内容を甲に書面にて報告し、協議のうえ指示を得なければならない。
  - (8) 本追加特記仕様書に示す仕様と異なるもので提出された場合、甲より補修の要請があった場合は、その仕様に合致するよう乙の責により補修しなければならない。

#### 【参考資料】

1. 橋梁基本情報登録について
2. 橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成について
3. 業務対象橋梁一覧について

## 【参考資料】

### 1. 「橋梁基本情報登録」について

別途指定する様式に基づき、橋梁基本情報を作成する。

橋梁基本情報の作成において、「橋梁番号、分割番号、管理者、道路種別、路線番号、路線名、市町村名、現旧新別、橋梁種別、橋梁分類、橋梁名、上部工構造形式、上部工使用材料、架設年次、橋長、径間数、橋梁名かな、起点側緯度、起点側経度」が入力必須項目となる。

### 2. 「橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダ構成」について

20XX年度 橋梁点検データフォルダ

- 橋梁基本情報 ※発注者より要請のあった場合のみ
- 報告書
- 業務対象橋梁一覧 (必須)
- 橋梁点検報告書に関するPDFファイルを全て登録 (必須)

※発注者より指示のあった場合は、エクセル、ワード、JPG等報告書に関連するファイルを登録する。  
ただし、橋梁単位で登録するデータ (各種様式類、写真、損傷図等) は不可とする。  
なお、報告書フォルダ内には、独自にフォルダを作成しないこと。

YYYYMMDD

※YYYYMMDDは、橋梁点検要領(案)に示すフォルダ構成の「点検日」を示す。

※各橋梁毎に格納するデータ等のフォルダ構成やファイル形式、細則等については伊賀市橋梁点検要領の最新版による。

※20XX年度 橋梁点検データフォルダの命名規則について

フォルダ名は、「20XX年度」橋梁点検」という文字を含めて命名を行う。

「20XX年度」を先頭として、「橋梁点検」という文字をどこかに含める。

なお、“ ”は空白 (スペース) を意味し、半角か全角かは問わない。

## 3. 報告書フォルダーに組み込む「業務対象橋梁一覧」について

	A	B	C	D	E	F	G
1	橋梁番号	分割番号	路線名	橋梁名			
2	10010	0	町道〇〇線	〇〇橋			
3	10020	0	町道〇〇線	〇〇橋			
4	10030	0	町道〇〇線	〇〇橋			
5	10040	0	町道〇〇線	〇〇橋			
6	10050	0	町道〇〇線	〇〇橋			
7	10060	1	町道〇〇線	〇〇橋			
8	10060	2	町道〇〇線	〇〇橋			
9	10070	0	町道〇〇線	〇〇橋			
10	10080	0	町道〇〇線	〇〇橋			
11	10090	0	町道〇〇線	〇〇橋			
12							
13							
14							

※エクセルシートを用い、一行目A列に橋梁番号、B列に分割番号、C列に路線名、D列に橋梁名のタイトルを入力し、二行目からそれぞれ該当情報を入力したものを格納する。



# 特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.2

明示項目	明示事項（条件及び内容）
カ 照査技術者	<input type="checkbox"/> 概略・予備・詳細設計等については、照査技術者を定めなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 次の業務には、照査技術者を定めなければならない。 （業務全般）
照査技術者の要件	照査技術者は、（ <input type="checkbox"/> 下記の者 <input checked="" type="checkbox"/> 下記のいずれかの者）とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 技術士 （ <input type="checkbox"/> 道路 部門 科目、 <input type="checkbox"/> 部門、 <input checked="" type="checkbox"/> 部門・科目を問わない） <input checked="" type="checkbox"/> 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） <input checked="" type="checkbox"/> R C C Mの資格保持者 （ <input type="checkbox"/> 道路 部門、 <input type="checkbox"/> 部門を問わない） <input type="checkbox"/> 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（監理技術者及び照査技術者の兼務はできないものとする。）
照査の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 照査は下記も含めて実施し、これに基づいて作成した資料は照査報告書に含めて提出しなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 詳細設計照査要領（（社）中部建設協会発行） <input type="checkbox"/> その他（ ）
キ 打合せ等	<input checked="" type="checkbox"/> 設計業務等着手時及び成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む）及び設計図書で定める業務の区切りにおける打合せには、管理技術者が出席するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 中間打合せ回数は 1 回とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 中間打合せについては、管理技術者が出席するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 照査技術者については（ <input checked="" type="checkbox"/> 設計業務着手時 <input checked="" type="checkbox"/> 中間打合せ 1 回 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む））の打合せに出席するものとする。
ク 資料の貸与	<input checked="" type="checkbox"/> 発注者の貸与する資料は、次のとおりとする。 （道路台帳）

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市  
令和元年7月

## 特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.3

明示項目	明示事項（条件及び内容）
ケ 業務条件	<input type="checkbox"/> 業務条件は下記のとおりとする。
コ その他	<input checked="" type="checkbox"/> 成果物の中で他の文献、資料等を引用した場合出典名を報告書に明記すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計に採用する材料等について、「三重県リサイクル製品利用推進条例」に基づく認定リサイクル製品に該当する材料等がある場合は、採用を検討すること。 検討した結果、該当する材料等については、監督員と協議のうえ、成果物（設計図面、数量計算書等）の使用材料を表示する欄に「認定リサイクル製品」と記載すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 暴力団員等による不当介入（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第1号）を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第9号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

(注)

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市  
令和元年7月

橋梁基本

管理者	道路種別	路線番号	路線名	整理番号	整理番号				
基本諸元	(ふりがな) 橋名	橋梁コード 分割番号	市町村名	大字小字名					
	現旧新別	橋梁種別	橋梁分類	路面位置					
	上部工構造形式	架設年次	橋格	センサス年度					
	上部工使用材料	橋長 (m)	現況	センサス番号					
	上部工床版形式	最大支間長(m)	耐荷荷重	自動車類交通量					
	下部工基礎	総径間数	設置箇所	大型車交通量					
	舗装種別	(単位 m)	全幅員	車道幅員	路肩幅員左	路肩幅員右	歩道幅員左	歩道幅員右	中央帯幅員
	適用示方書	幅員構成							
	緊急輸送道路指定	管理グループ	橋梁中心X座標		橋梁中心Y座標				
	架橋状態	備考							
	概略側面図・断面図・平面図					全景写真1			
						全景写真2			

点検調書 (1/1)		点検区分		前回点検日	径間番号		上部工構造形式			
		点検方法		点検種別	支間長 (m)		下部工構造形式			
橋梁名		橋梁コード		建設部名		路線番号				
		分割番号		道路種別		路線名				
点検日		点検会社名		点検者名		市町村名				
部材(部位)		前回点検の評価			代表的な損傷状況・位置などの概要			損傷度 (最悪値)	健全性 (4段階)	写真 番号
		点検区分	損傷度 (最悪値)	健全性 (4段階)	写真 番号	点検区分	記 事			
橋面工 (その他)	路面									
	伸縮装置									
	高欄等									
	排水施設									
	その他付属物									
上部工	主桁									
	横桁・縦桁									
	床版									
下部工	下部工躯体									
	基礎									
支 承	本体									
	アンカーボルト									
	落橋防止システム									
	モルタル									
その他 部 位 (部材)	点検施設									
	遮音施設									
	照明施設									
	添架物									
全体 損傷 概要							健全性	内容		
							I	構造物の機能に支障が生じていない状態		
							II	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状		
							III	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態		
							IV	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能 性が		
備 考										

# 損傷スケッチ図 (1/〇)

橋梁名		橋梁コード		建設部名		路線番号	
		分割番号		道路種別		路線名	
点検日		点検会社名		点検者名		市町村名	

上部工 or 下部工損傷位置図

# 損傷写真集 (1/〇)

橋梁名		橋梁コード		建設部名		路線番号	
		分割番号		道路種別		路線名	
点検日		点検会社名		点検者名		市町村名	
		写真番号				写真番号	
		径間番号				径間番号	
		部材番号				部材番号	
		損傷状況				損傷状況	
		健全性				健全性	
備考		備考					
		写真番号				写真番号	
		径間番号				径間番号	
		部材番号				部材番号	
		損傷状況				損傷状況	
		健全性				健全性	
備考		備考					

補修履歴調書 (1/〇)		橋梁名	橋梁コード	建設部名
			分割番号	道路種別
			径間番号	上部工構造形式
			支間長(m)	上部工使用材料
項目	内容	損傷概要のわかる図面	損傷概要のわかる写真	
補修No.				
補修および改良年月日				
対象部材				
補修・改良理由				
損傷原因				
補修・改良工法				
工事費用(百万)				
適用示方書				
補修補強面積(m <sup>2</sup> )				
備考				
項目	内容	損傷概要のわかる図面	損傷概要のわかる写真	
補修No.				
補修および改良年				
対象部材				
補修・改良理由				
損傷原因				
補修・改良工法				
工事費用(百万)				
適用示方書				
補修補強面積(m <sup>2</sup> )				
備考				
コメント				

点検項目		県市町名	路線名	橋種	点検日					
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者					
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号					
					上部工塗装面積					
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である				写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ II)	A (健全性: I ~ II)				
1	路面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。			供用性を評価
2		舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下である。密集度が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さが床版に達している。発生箇所数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗装直下のコンクリートが土砂化している。発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必要とするような損傷がある。			
3	伸縮装置	遊間の異常	部材無し	各遊間に差はあるが必要程度の遊間は確保されている。	各遊間の間隔が極端に異なっている。直角方向にずれている。	装置の櫛の歯が完全に離れている。桁とバラベットあるいは桁同士が接触している。	遊間の異常な広がりや装置の座屈変形によるせり上がり等により、第三者に障害を及ぼす懸念がある。			供用性を評価
4		路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。			伸縮装置固定部の後打ちコンクリートを評価
5		鋼製ジョイントの場合 腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	鋼材の表面に部分的な腐食がある。	鋼材表面全体に錆が発生している。櫛の歯の一部に軽微な破断や欠損がある。	錆の発生が激しく板厚の減少がある。櫛の歯に比較的大きな亀裂や破断がある。	櫛の歯の破断や欠損により、通行車両等に障害(パンク、転倒)を及ぼす懸念がある。			
6		変形・欠損、漏水など (ゴム系)	部材無し	経年劣化がある。	部分的に軽度の変形・欠損、漏水などがある。	部材全体に劣化が進み比較的大きな変形や欠損がある。欠損箇所から橋面下への漏水が見られる。	部材に著しい変形や欠損が生じている。第三者の通行に支障がある。			
7	高欄・防護柵・地覆・中央分離帯	腐食、変形・欠損など	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満。部材等の変形、欠損はない。(コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はないが、錆びの面積は50%以上。部材等の変形、欠損はあるが軽微である。(コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の減少や断面欠損があるが、錆びの面積は50%未満。部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。支柱下地覆が欠損し支柱が浮いている。(コンクリート部材の場合)部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や腐食による断面欠損があり、錆びの面積が50%以上である。損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や歩行者に支障がある。(コンクリート部材の場合)損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や歩行者に支障がある。			供用性を評価
8	排水施設 柵、管	腐食、変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局部的に変形している。排水管全体が腐食している。	部材全体が著しく腐食して部分的に欠損している。柵の一部に変形や欠損がある。	排水管の腐食が著しく部材が欠損し、機能不全を生じている。排水柵が消失し空隙が生じ第三者の通行に支障がある。			供用性を評価
9	その他付属物	腐食、変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局部的に変形し、一部が著しく欠損している。	部材が全体的に著しく変形したり、欠損している。	橋上施設部材の変形や異常により第三者の通行に支障がある。			供用性を評価

点検項目		県市町名	路線名	橋種	点検日					
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者					
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号					
					上部工塗装面積					
点検項目		損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
損傷状況		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)				
10	主桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	皮膜の劣化範囲が広くし点錆が発生している。 耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(支点、支間中央付近など)ある。			耐荷性に直接影響する
11		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長が多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(支点付近)にある。			
12		ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。			
13		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損が(支点や支間中央付近など)ある。			
14	横桁・縦桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない(錆び面積50%以上)である。 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。			耐荷性に影響する部材
15		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂があり、亀裂の長さや発生本数が比較的長が多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(接合部、支間中央付近など)ある。			
16		ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。			
17		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。			
18	床版	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。			耐荷性に影響する部材
19		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長が多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。			
20		ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。			
21		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。			

点検項目		県市町名	路線名	橋種	点検日						
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者						
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号						
							上部工塗装面積				
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)					
22	主桁	RC桁のひび割れ	部材無し ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。				耐荷性に直接影響する	
23		PC桁のひび割れ	部材無し ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。					
24		剥離・鉄筋露出	部材無し 局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋の一部(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく、わずかに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。					
25		漏水・遊離石灰	部材無し 損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。					
26		変形・欠損	部材無し 当て傷等軽微な損傷がある。	局部的な変形や欠損がある。	著しい変形がある。 欠損が著しい。	耐荷力に影響(断面定数の低下)すると思われる変形や欠損が(支点、支間中央付近など)ある。					
27	横桁・縦桁	RC桁のひび割れ	部材無し ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。				耐荷性に影響する部材	
28		PC桁のひび割れ	部材無し ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。					
29		剥離・鉄筋露出	部材無し 局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。					
30		漏水・遊離石灰	部材無し 損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。					
31		変形・欠損	部材無し 当て傷等軽微な損傷がある。	変形がある。 または欠損がある。	著しい変形がある。 または欠損が著しい。	耐荷力に影響すると思われる変形や欠損がある。					
32	床版 (張出部含む)	剥離・鉄筋露出	部材無し 局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく僅かに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。				耐荷性に直接影響する	
33		漏水・遊離石灰、 うき変色・劣化	部材無し 損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	コンクリートの劣化が激しい。ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、錆汁が生じている。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄筋の劣化が進み材料強度低下が考えられ耐荷力に影響を与えている。					
34		抜け落ち	部材無し 損傷なし	—	—	コンクリートの抜け落ちがある。					
35		床版ひび割れ	部材無し 性状、主として一方のみに発生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達して、構造が等方性版から異方性へと変化した、耐荷力に影響すると思われる。					
36		定着部の異常	部材無し 軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認められる。または定着部に損傷が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリートが剥離している。または定着部に著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が見られる。					
37	漏水・滞水	部材無し 損傷なし	伸縮装置からの漏水や排水装置からの漏水による伝い水がある。	—	—						

点検項目		県市町名	路線名	橋種	点検日						
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者						
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号						
					上部工塗装面積						
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)					
38	鋼 橋脚躯体	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色が生じ、錆の発生があるが部分的である。	皮膜が剥離し全体に錆の発生がある。板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	錆の発生により部材に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少がある。			耐力性に影響する部材	
39		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。				
40		ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部に於いて5%未満のボルトに異常がある。(使用材料は問わない)	一群の添接部に於いて5%以上のボルトに異常がある。(使用材料は問わない)	一群の添接部に於いて5%以上のボルトに異常がある。B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。				
41		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。				
42	下部工 コンクリート 橋台躯体・ 橋脚躯体	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響と思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。				
43		剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐力に影響と思われる断面減少が見られる。				
44		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。(単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐力に影響と思われる鉄筋の断面減少が予想される。				
45	基礎	沈下・移動・傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。				
46		洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。				
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)					
47	その他 支承	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	板厚減少が見られない程度の腐食が発生。	鋼材表面に著しい膨張が発生。	腐食により崩壊、消失をきたし路面に段差が生じ通行車両に支障。					
48		本体	支承の機能障害	部材無し	損傷なしor損傷軽微	支承の一部機能(固定、可動、回転)が損なわれている。	支承の機能が全消失している。				
49		変形・欠損	部材無し	損傷なし	支承の機能障害に至らない程度の変形、欠損がある。	支承の機能障害を伴う様な変形や欠損がある。					
50		アンカーボルト	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	部材径に減少が見られない程度の腐食が発生。	著しい腐食による膨張や破断、抜け出しがある。	-				
51		落橋防止システム	腐食、破断、変形、欠損、ひび割れ、剥離、鉄筋露出	部材無し	局所的に軽微な損傷がある。	著しい損傷がある。	-				
			種類	<input type="checkbox"/> 鋼 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> PC鋼材連結 <input type="checkbox"/> 突起 <input type="checkbox"/> 桁下鋼材突起 <input type="checkbox"/> ピン連結 <input type="checkbox"/> チェーン連結 <input type="checkbox"/> 沓座拡幅							
52	モルタル	ひび割れ、変形・欠損	部材無し	ひび割れ幅0.3mm以下	剥離、欠損が著しい。	-					
53	その他	部材無し	損傷なし	損傷あり	-					下部工背後の凹凸等	



現地調査までに記入      現地で記入

点検項目	県市町名	市町	路線名	市町道市町線	橋種	橋	点検日	yyyy/mm/dd
	橋梁コード	1000	位置(起点側)	0	橋長(m)	50	点検者	三重 太郎
	橋梁名	市町橋	位置(終点側)		総径間数	3	点検径間番号	1
							上部工塗装面積	---

点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I~II)	B2 (健全性: I~III)	A (健全性: II~IV)					
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21	主桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	部材無し	部材無し	部材無し	部材無し	m2	m2		
		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	部材無し	部材無し	部材無し	箇所	箇所		
		ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	部材無し	部材無し	部材無し	箇所	箇所		
		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	部材無し	部材無し	部材無し	箇所	箇所		
		腐食・防食機能の劣化	部材無し	部材無し	部材無し	部材無し	部材無し	m2	m2		
		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	部材無し	部材無し	部材無し	箇所	箇所		
	横桁・縦桁	ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	部材無し	部材無し	部材無し	箇所	箇所		
		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	部材無し	部材無し	部材無し	箇所	箇所		
		床版	腐食・防食機能の劣化	部材無し	部材無し	部材無し	部材無し	部材無し	m2	m2	
			亀裂・破断	部材無し	損傷なし	部材無し	部材無し	部材無し	箇所	箇所	
			ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	部材無し	部材無し	部材無し	箇所	箇所	
			変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	部材無し	部材無し	部材無し	箇所	箇所	

サンプルは、コンクリート上部工のため「部材無し」に○を付ける。

部材に対する点検項目で、損傷程度の評価が全て「部材無し」となる

現地調査までに記入      現地で記入

点検項目	県市町名	市町	路線名	市町道市町線	橋種	橋	点検日	yyyy/mm/dd
	橋梁コード	1000	位置(起点側)	0	橋長(m)	50	点検者	三重 太郎
	橋梁名	市町橋1	位置(終点側)		総径間数	3	点検径間番号	1
							上部工塗装面積	---

点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考		
		該当部材 無し	OK (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)						
22	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。	II	m2	m2	なし		
	23	PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満		耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。	m2	m2		
	24	剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく、わずかに断面の減少が見られる。		主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。	1.8	m2	G1 うき 300×3000 G3 鉄露 300×3000	
	25	漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)		内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。	0.3	m2	m2	G2 遊離 L1000
	26	変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局部的な変形や欠損がある。	著しい変形がある。 欠損が著しい。		耐荷力に影響(断面定数の低下)すると思われる変形や欠損が支点、支間中央付近などがある。	箇所	箇所	なし	
27	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。	I	m2	m2	なし		
	28	PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満		耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。	m2	m2		
	29	剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。		主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。	m2	m2	なし	
	30	漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)		内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。	m2	m2	なし	
	31	変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	変形がある。 または欠損がある。	著しい変形がある。 または欠損が著しい。		耐荷力に影響すると思われる変形や欠損がある。	箇所	箇所	なし	
32	剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく僅かに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。	II	0.3	m2	m2	上流張出 鉄露 300 ×500 2ヶ所	
	33	漏水・遊離石灰、うき、変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄筋の劣化が進み材料強度低下が考えられ耐荷力に影響を与えている。		m2	m2	なし		
	34	抜け落ち	部材無し	損傷なし	-	-		コンクリートの抜け落ちがある。	m2	m2	なし	
	35	床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方向のみに発生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状		床版の疲労による劣化が加速期に達して、構造が等方性版から異方性へと変化し、耐荷力に影響すると思われる。	9	m2	m2	ひび 0.1 多数
	36	定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認められる。または定着部に損傷が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリートが剥離している。または定着部に著しい損傷がある。		定着具やアンカープレートに大きな変形が見られる。	箇所	箇所		
	37	漏水・滞水	部材無し	損傷なし	伸縮装置からの漏水や排水装置からの漏水による伝い水がある。	-		-	箇所	箇所	なし	

現地調査までに記入      現地で記入

点検項目	県市町名	市町	路線名	市町道市町線	橋種	橋	点検日	yyyy/mm/dd
	橋梁コード	1000	位置(起点側)	0	橋長(m)	50	点検者	三重 太郎
	橋梁名	市町橋1	位置(終点側)		総径間数	3	点検径間番号	1
							上部工塗装面積	---

点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)					
38	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色が生じ、錆の発生があるが部分的である。	皮膜が剥離し全体に錆の発生がある。板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	錆の発生により部材に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐力に影響に影響(断面定数の低下)すると思われる板厚の減少がある。		m2	m2		
39	亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜剥れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐力に影響に影響(断面定数の低下)すると思われる大きな亀裂や破断がある。		箇所	箇所		
40	ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部に於いて5%未満のボルトに異常がある。(使用材料は問わない)	一群の添接部に於いて5%以上のボルトに異常がある。(使用材料は問わない)	一群の添接部に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。		箇所	箇所		
41	変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐力に影響(断面定数の低下)すると思われる変形や欠損がある。		箇所	箇所		
42	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響すると思われるひび割れがある。主桁が落橋する様な大きな割れがある。		1.2	m2	0.4mm、0.4m	
43	剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐力に影響すると思われる断面減少が見られる。	II	m2	m2		
44	漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。(単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。発生箇所が広範囲で耐力に影響すると思われる鉄筋の断面減少が予想される。		m2	m2		
45	沈下・移動・傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。	III	1	cm	cm	橋梁傾斜 詳細調査
46	洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。		1	箇所	箇所	橋脚基礎 上流洗堀 2000×500 L=1000
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)					
47	腐食 亀裂 ゆるみ・脱落、破断 など	部材無し	板厚減少が見られない程度の腐食が発生。	鋼材表面に著しい膨張が発生。	腐食により崩壊、消失をきたし路面に段差が生じ通行車両に支障。			m2	m2	腐食 A1G1-G3	
48	支承の機能障害	部材無し	損傷なしor損傷軽微	支承の一部機能(固定・可動、回転)が損なわれている。	支承の機能が全消失している。		II	箇所	箇所	なし	
49	変形・欠損	部材無し	損傷なし	支承の機能障害に至らない程度の変形、欠損がある。	支承の機能障害を伴う様な変形や欠損がある。			箇所	箇所	なし	
50	アンカーボルト	部材無し	部材径に減少が見られない程度の腐食が発生。	著しい腐食による膨張や破断、抜け出しがある。	-			箇所	箇所	確認不能	
51	落橋防止システム	部材無し	局所的に軽微な損傷がある。	著しい損傷がある。	-		I	箇所	箇所	なし	
	種類	<input type="checkbox"/> 鋼 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> PC鋼材連結 <input type="checkbox"/> 突起 <input type="checkbox"/> 桁下鋼材突起 <input type="checkbox"/> ピン連結 <input type="checkbox"/> チェーン連結 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 脊座拡幅									
52	モルタル	部材無し	ひび割れ幅0.3mm以下	剥離、欠損が著しい。	-			箇所	箇所		
53	その他	部材無し	損傷なし	損傷あり	-			箇所	箇所	A1 背面段差 h50 添架なし	

# ボックスカルバート用チェックシート

点検項目		県市町名	路線名	橋種	点検日						
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者						
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号						
					上部工塗装面積						
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ II)	A (健全性: I ~ II)					
1	路面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。 損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。 損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。 損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm 以上)損傷がある。			供用性を評価	
2		舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下である。 密集度が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さが 床版に達している。発生箇所 数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗 装直下のコンクリートが土砂化し ている。 発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必 要とするような損傷がある。				
7	高欄・防護柵・ 地覆・中央分離 帯	腐食,変形・欠損な ど	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板 厚の減少や断面欠損はないが、 錆びの面積は50%未満。 部材等の変形、欠損はない。 (コンクリート部材の場合) 部材等の変形、欠損、鉄筋の露 出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板 厚の減少や断面欠損はないが、 錆びの面積は50%以上。 部材等の変形、欠損はあるが軽 微である。 (コンクリート部材の場合) 部材等の変形、欠損、鉄筋の露 出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の 減少や断面欠損があるが、錆び の面積は50%未満。 部材の一部が局部的に著しく変 形し一部が欠損している。 支柱下地覆が欠損し支柱が浮い ている。 (コンクリート部材の場合) 部材の一部が局部的に著しく変 形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や 腐食による断面欠損があり、錆びの面積 が50%以上である。 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機 能が失われ車両や通行人に支障がある。 (コンクリート部材の場合) 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機 能が失われ車両や通行人に支障がある。			供用性を評価	
点検項目								損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の( )内は健全性評価目安である		
			該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)				
32	上部工 コン クリ ート 主桁 (頂版)	剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露 出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ) が露出しているが腐食は軽微で ある。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ) が露出し腐食が著しく僅かに断 面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著 しく、耐力に影響すると思われる断面減 少が見られる。			耐荷性に直接影響する	
33		漏水・遊離石灰 うき,変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび 割れから漏水が生じているが、錆 汁や遊離石灰はほとんどみられ ない。	コンクリートの劣化が激しい。ひ び割れから著しい漏水や遊離石 灰、錆汁が生じている。 (単なる水滴や表面の伝い水によ る遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄 筋の劣化が進み材料強度低下が考えら れ耐力に影響を与えている。				
34		抜け落ち	部材無し	損傷なし	-	-	-	コンクリートの抜け落ちがある。			
35		床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方向のみに発 生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発 生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達し て、構造が等方性版から異方性へと変化 し、耐力に影響すると思われる。				
36		定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認 められる。または定着部に損傷 が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリート が剥離している。または定着部に 著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が 見られる。				
37		漏水・滞水	部材無し	損傷なし	-	-	-	伸縮や排水装置等からの漏水がある。 支承付近に漏水による滞水がある。			

42	下部工	コンクリート	橋台 (側壁・底版)	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響すると思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。				
43				剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐力に影響すると思われる断面減少が見られる。				
44				漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や漏水等による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐力に影響すると思われる鉄筋の断面減少が予想される。				
45		基礎	沈下,移動,傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。					
46			洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。					
53		その他			部材無し	損傷なし	損傷あり	—					上下流(起終点)部護岸のずれ等

チェックシート(損傷図)

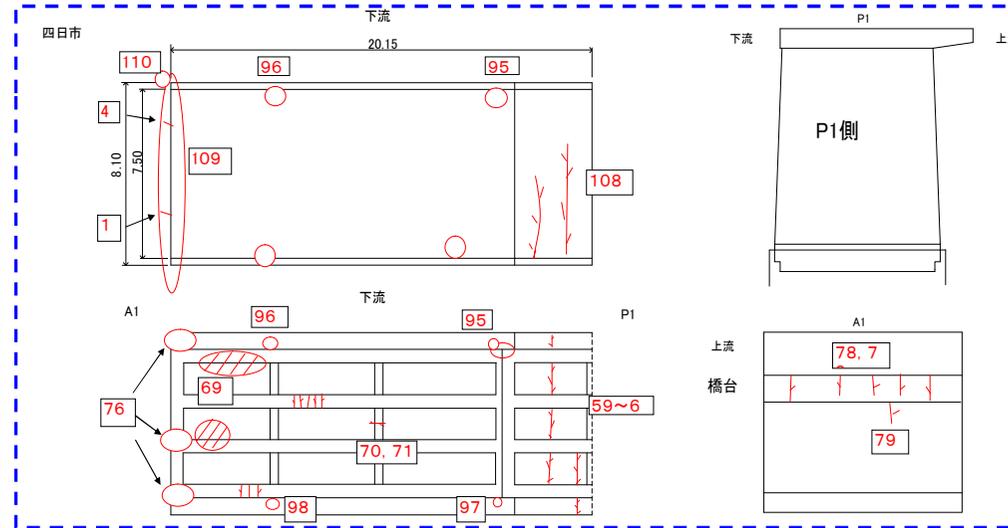
点検項目	管理事務所	路線名	橋種	点検日													
	橋梁コード		橋長(m)	点検者													
	橋梁名		総径間数	点検径間番号													
備考および概略図	<p>※その他損傷に対する記述、損傷スケッチ図、該当する写真番号を必要に応じて記入してください。※径間番号は、路線起点側を1番とする。但し、河川に架設されている橋梁は、上流側から見て左岸を1番とする。</p>																
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>凡 例</caption> <tr> <td>ひび割れ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>遊離石灰</td> <td></td> </tr> <tr> <td>剥離</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋露出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>豆板・空洞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>				ひび割れ		遊離石灰		剥離		漏水		鉄筋露出		豆板・空洞		その他
ひび割れ																	
遊離石灰																	
剥離																	
漏水																	
鉄筋露出																	
豆板・空洞																	
その他																	
点検結果の整理	傷度の最悪値を記入(悪い順:A, B2, B1, OK)	損傷の総合評価(部材単位) コメント		備考													
	路面																
	伸縮装置																
	高欄・防護柵																
	排水施設																
	その他付属物																
	主桁																
	横桁・縦桁																
	床版																
	下部工躯体																
	基礎																
支承																	

チェックシート(損傷図)

点検項目	管理事務所		路線名	〇〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2010/2/1
	橋梁コード	〇〇〇〇			橋長(m)	100	点検者	三重 太郎
	橋梁名	〇〇橋			総径間数	12	点検径間番号	1

※その他損傷に対する記述、損傷スケッチ図、該当する写真番号を必要に応じて記入してください。※径間番号は、路線起点側を1番とする。但し、河川に架設されている橋梁は、上流側から見て左岸を1番とする。

備考および概略図



スケッチ図を描き、  
損傷箇所を明記する

凡例	
ひび割れ	
遊離石灰	
剥離	
漏水	
鉄筋露出	
豆板・空洞	
その他	

点検結果を記

点検結果の整理	損傷度の最悪値を記入(悪い順:A, B2, B1, OK)		損傷の総合評価(部材単位) コメント	備考
	項目	評価		
路面	B1	舗装のひび割れが伸縮装置付近で発生している。		
伸縮装置	B2	一部欠損をしている。		
高欄・防護柵	OK			
排水施設	B1	排水管が欠損している。		
その他付属物	B1	照明灯が腐食している。		
主桁	OK	ひび割れ幅が0.15mm程度で、下面、側面に見られる。		
横桁・縦桁	OK			
床版	B1	端部に漏水、遊離石灰が見られる。		
下部工躯体	A	橋台パラペット部にひび割れがある。		
基礎	不明			
支承	B1	全体に腐食している。		

## 橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度		橋梁ID
				経度		
(フリガナ)						
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)

## 部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

## 定期点検時に記録

## 応急措置後に記録

部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁						
	横桁						
	床版						
下部構造							
支承部							
その他							

## 道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

## 定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

## 全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
橋梁形式		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造( )【判定区分: 】	上部構造( )【判定区分: 】
支承部【判定区分: 】	下部構造【判定区分: 】